

製品名: ヒストン H1.8 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00419**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	IHC 1:50-1:100, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:20000
分子量	-

抗原情報

遺伝子名	H1-8
別名	H1.8; H1oo; osH1
遺伝子 ID	132243
SwissProt ID	Q8IZA3
免疫原	-

背景

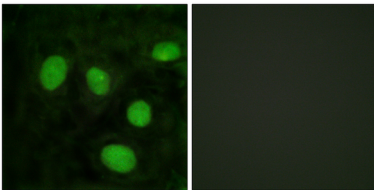
卵形成および初期胚発生における遺伝子発現の制御において、おそらくクロマチン構造の攪乱を介して重要な役割を果たす可能性がある。卵胞期卵母細胞の減数分裂成熟に必須である。体細胞型リンカーヒストン H1c は、卵母細胞に移植されたドナー核において、

急速に H1oo に置換される。H1c と比較して H1oo の移動度が高いことが、この急速な置換と胚のクロマチン構造の不安定性の増加に寄与している可能性がある。H1c から H1oo への急速な置換は、核リモデリングにおいて重要な役割を果たす可能性がある。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



ヒストン H1.8 抗体を用いた HeLa 細胞中のヒストン H1.8 の免疫蛍光染色。右側はブロッキングペプチドを添加したサンプル。